

2010年冬季賞与妥結結果(最終集計)

1. 県内

全業種総平均ではプラスに転じるも、業種によりバラツキ

富山経協は12月27日、「2010年冬季賞与妥結結果」(単純平均・最終集計)をまとめた。集計可能な95社の妥結額平均は428,523円で、今回回答のあった企業の昨冬の妥結額(410,193円)と比べると、金額で18,330円増加し、増減率でプラス4.47%となっている。(表1)

しかしながら、昨冬の最終集計金額441,663円(今冬の回答企業とは一部異なる99社の集計)を下回っていることや、今冬の集計でも17業種中「一般機械」や「輸送用機械」などで昨冬の厳しい対応からプラスに転じた一方で、6業種で昨冬比マイナスとなるなどバラツキが見受けられ、未だ調整局面と考えられる。

2. 全国大手

165社単純平均695,217円、昨年冬の調査比プラス3.53%

日本経団連が12月15日に取りまとめた「2010年冬季賞与妥結結果」(単純平均・最終集計)によると、調査対象の全国大手企業(主要21業種、大手250社)のうち、集計可能165社の妥結額平均は695,217円で、2009年冬の最終妥結実績(164社、平均671,507円)と比べると、金額で23,710円増加し、増減率でプラス3.53%となっている。(表2)

(表1) 県内企業の2010年冬季賞与・一時金妥結結果[単純平均]

[最終集計-2010年12月27日]

(社)富山県経営者協会

業種	社数(社)	2010年冬季妥結額(円)	2009年冬季妥結額(円)	前年同期比(%)
織 維	3	492,952	381,313	29.28
印 刷	3	331,454	320,734	3.34
化 学	9	549,325	566,767	△3.08
プラスチック製品	5	356,585	352,724	1.09
鉄鋼・非鉄金属	2	592,500	607,500	△2.47
金 属 製 品	8	386,126	368,839	4.69
一般機械器具	11	351,963	281,571	25.00
電気機械・電子部品	5	338,374	381,253	△11.25
輸送用機械器具	5	463,851	417,015	11.23
その他製造業	9	399,631	390,337	2.38
建 設 業	3	308,365	242,446	27.19
電 気 ・ ガ ス	3	838,829	788,534	6.38
運 輸 ・ 倉 庫	4	308,457	324,318	△4.89
情報サービス・通信	3	498,020	583,157	△14.60
卸 ・ 小 売	11	434,632	378,623	14.79
金 融 ・ 保 険	4	604,882	581,949	3.94
サービス業・その他	7	340,891	371,139	△8.15
総 平 均	95	428,523 (515,734)	410,193 (495,093)	4.47 (4.17)
製 造 業 平 均	60	415,891 (474,764)	395,634 (462,101)	5.12 (2.74)
非 製 造 業 平 均	35	450,177 (562,906)	435,152 (533,343)	3.45 (5.54)

(注)①調査対象は426社、うち集計可能な回答のあった95社の数値である。

「2009年冬季」は今回回答のあった企業の前年同期の数値である。

②平均欄の上段は1社当たりの単純平均、下段の()内は1人当たりの加重平均である。

③前年同期比の△印はマイナスを示す。

(表2) 全国大手企業の2010年冬季賞与妥結結果[単純平均]

[最終集計-2010年12月15日]

(社)日本経済団体連合会

業種	2010年冬期		2009年冬期		前年未比(%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総 平 均	165	695,217 (774,654)	164	671,507 (755,628)	3.53 (2.52)
製 造 業 平 均	138	681,219 (752,870)	134	652,189 (728,589)	4.45 (3.33)
非 製 造 業 平 均	27	766,761 (839,092)	30	757,793 (834,020)	1.18 (0.61)

(注)①調査対象は主要21業種・大手250社。東証一部上場、従業員500人以上が原則。「2009年冬季」は昨年の本調査の最終集計結果である。

②上段は1社当たりの単純平均、下段の()内は1人当たりの加重平均である。